

# 環境チケット運動を進めていきます



笠間地区では、平成16年6月に「笠間市レジ袋削減運動推進委員会」を立ち上げ、市民、各種団体が中心となり、レジ袋の削減運動を進めています。レジ袋の削減はごみの減量化や地球環境の保護に直接役立ちます。今後は友部地区、岩間地区にレジ袋削減運動を進めていきます。

## 《環境チケットの仕組み》

**1** 買い物には、マイバック(買い物袋や買い物かごなど)を持って出掛けましょう。

**2** この表示のある「環境チケット協力店」で買い物をしたとき。

**3** レジ袋を断って!

**4** 「環境チケット」をもらいましょう。

**5** チケットを学校等で集めます。社会福祉事業用は店頭での回収ボックスへ。

**6** 年2回集計します。集めた分だけPTAや社会福祉の活動費に交換できます。(1枚2円です)

※今までに、45,957枚、金額にして91,914円が福祉や学校のPTA活動などに役立てられています。

笠間地区の環境チケット協力店にはステッカーと回収箱があります。協力店等については、環境保全課まで問合せください。

**問合せ**  
環境保全課(内線125)

## こんにちは市長室です



山口市長

姉妹都市 友好都市

赤穂市は忠臣蔵で有名な浅野家、矢板市は笠間時朝と矢板城主であった塩谷朝業のつながりにより、それぞれ旧笠間市と姉妹都市を結んでいます。田辺市と遠軽町は、合気道の関係により旧岩間町が友好都市を結んでいました。歴史的なつながりがあり、今までの関係を含め、新市でもより関係を深めていくことが必要であると思います。

先般、田辺市に私と大関議会議長で表敬訪問をしました。遠軽町からも助役が出席し、今後の対応について田辺市長と話をしました。お互い今までの関係を継続し、発展させることで意見が一致しました。この旧市町の関係を継続すると4つの市町と新たな盟約締結をする必要があります。私は、姉妹・友好都市を考えると、それぞれの良いところを学び、情報を交換、共有し、お互いの歴史を理解、認識していくことが必要であると思います。そして、通り一遍の都市間交流ではなく、行政はもとより市民団体・学校などが文化・スポーツなど各分野において交流が深められるような、背伸びをしない自然な形での関係を築いていきたいと思っています。拘束しあうような形や負担が掛かりすぎる関係である、長く関係を保つことには無理があると思います。新市としての正式な手続きについては、議会と協議を進めていきたいと思っています。さらに、旧笠間市は新潟県長岡市の牧野家(笠間藩主)との関係があり、旧友部町は、福島県三春町の秋田家(宍戸藩主)との関係があります。もし、訪ねる機会がありましたら歴史のつながりを思い出してください。

姉妹都市  
赤穂市(兵庫県)・矢板市(栃木県)  
友好都市  
田辺市(和歌山県)・遠軽町(北海道)

笠間市長

山口伸樹